

フアンさんの事件解決に向けたアクションを！



ドミニカ共和国の人権活動家フアン・アルモンテ・エレラさんが失踪してから、この9月で4年を迎えます。フアンさんは治安部隊に強制失踪させられたと見られています。ドミニカ当局はきちんとした調査をせず、警察もフアンさんの拘束を認めてはいません。

アムネスティでは彼の家族を支援し、ドミニカ共和国政府に対して、フアンさんの無事の帰宅、事件の究明、責任者の処罰を行うよう圧力をかけるため、9月23日～28日に全世界で運動を展開します。

それに先立って今回、皆さんにお願いしたいのは、フアンさんの写真を持った皆さん自身の写真を撮影し、アムネスティのサイトにアップすることです。ご本人の写真は、今月号のUA ニュースの最後に添付してあります。写真の背景には、できれば、その地の何か特徴的な建造物やランドマークを入れてください。また、「エレラ・アルモンテさんはどこに？」などと書いてもいいかもしれません。これらの写真は、ドミニカ共和国で9月28日に行う集会で使用する予定です。

写真は、次のURLのSUBMIT A POSTからアップしてください。<http://where-is-juan-almonte.tumblr.com/> その際、撮影場所もひとこと記載してください。

写真は、次のURLのSUBMIT A POSTからアップしてください。<http://where-is-juan-almonte.tumblr.com/> その際、撮影場所もひとこと記載してください。

ユーさんの解放に向けたアクションを！



韓国人のユ・ユンゾンさんは、良心に従って兵役を拒否したため、今、懲役18カ月の刑を受けて京畿道にあるイエオジュ刑務所に収容されています。彼は若者を中心として活動

している韓国の人権団体アスナロの活動家です。彼は、団体の活動や著作を通じ若い人びとの権利を訴えています。

彼は十代の頃から政治に関心があり、ナショナリズムや全体主義に反対する立場を明らかにしてきました。特に、良心に基づき兵役を拒否したオー・ジャンロウさんの記事に感銘を受け、自分自身も兵役を拒否する決心をしました。

今、彼は仮釈放されるかどうかの瀬戸際にあり、アムネスティとしてはこのチャンスをうまく生かしたいと考えています。どうぞ皆さん、ユさんを無条件で釈放するよう韓国政府に圧力をかけるアピール文を送ってください。また、ユさんに寄り添って活動する私たちの存在を伝え、元気づける手紙を獄中のユさんに送って下さい。宛先は次の通りです。

Yoo Yun-jong(Inmate no. 984)

Yeoju Prison, Yeoju P. O. Box 30, Yeoju-gun, Gyeonggi-do, South Korea 469-800

マキシマさん一家、自宅に留まれることに！

採掘会社によって不当に立ち退きを迫られていた、ペルーのマキシマ・アキュニャーさんとその一家ですが、2012年10月に受けた地方裁判所の退去命令が無効とされ自宅に留まれることになりました。

この事件は、マキシマさんとその一家が20年近く住んできた北ペルーの土地について、ミネラ・ヤナコチャ社が自分たちの所有権を主張したことがきっかけで始まりました。

その後2年間に渡り、ペルー警察はマキシマさん一家に対して嫌がらせを行い、一家を立ち退かせようとしてきました。マキシマさんが人権団体やジャーナリストらに連絡を取るまで嫌がらせは続きました。

今後は、新たな判事の下で、最高裁判所の取り調べが行われますが、「法律にのっとって正式に土地を購入した」とするマキシマさんの主張などもきちんと加味され、審理が進められるように、アムネスティをはじめとした世界の人権保護団体が動向を注視しています。

緊急行動 (UA) 2013年上半期のまとめ

今月は、アムネスティが今年の1月から6月までの間に発行した緊急行動を振り返ってみましょう。

〔件数〕上半期で158件の新規UA、143件の更新情報、合計で301件のUAを発行しました。更新情報のうち、46件は問題解決などによる停止アクションでした。

〔地域〕上半期のうち、最も件数の多かった地域は中東地域・北アフリカ地域でした(新規36件、更新63件、合計99件)。次いで、アメリカ地域が続きます(新規55件、更新30件、合計85件)。3番目に多かったのはアジア地域で(新規26件、更新25件、合計51件)、それにアフリカ地域(新規23件、更新15件、合計38件)、欧州地域(新規18件、更新14件、合計32件)が続きます。

〔性別〕301件のうち184件は「危機にある個人」に関する発行でした。40件は女性、74件は男女両方が含まれています。残りの3件については、性別の特定がなされていません。

〔カテゴリー〕UA発行においては、複数のカテゴリーにまたがる事件であることが多く、カテゴリーを特定することは用意ではありません。あえてカテゴリー分けをした結果を以下にお伝えします。

最も多いのは、「表現の自由」で、66件のUAが発行されています。「良心の囚人」については56件、「死刑」に関するものが53件となっています。「拷問」に関するものも51件と多く、「身の安全への懸念」が48件となっています。これらの件数は新規・更新ともに含む数字です。

今年も、UAに対する皆さんの頻繁かつ迅速なアクションが、世界中に広がるアムネスティの大きな影響力となって、当局や関係者の重い腰を動かし、状況の改善や釈放に結び付いています。

引き続き、皆さんの積極的なご協力をお願いいたします。

緊急行動 ～グッド・ニュースと進捗～

〔インド〕演劇活動家のシェータル・サテさんは、4月2日に共同謀議と非合法団体などの容疑で逮捕されましたが、すぐに保釈されました。同時に逮捕された夫のサチン・マリさんや仲間の活動家2人は依然、拘置されたままです。

彼らは西インドで音楽と演劇を通じて人権問題に関する抗議キャンペーンをしているグループのメンバーです。インドにおける弱者への暴力や差別に抗議活動を展開してきました。ボンベイ高等裁判所は6月29日、妊娠8カ月に入っていたシェータルさんを釈放しました。夫のサチンさんや仲間の活動家2人は拘置されたままですが、拷問などの虐待を受ける危険はないということです。

たくさんのご協力をありがとうございました。



〔ウクライナ〕レイサ・ラドチェンコさん(70歳)はウクライナで市民の権利擁護や当局の汚職の撲滅などに向け精力的に活動してきましたが、7月10日、突然、自宅から警察官に連行され、精神病院に入れられました。

当局命令の「検査入院」の結果、裁判所は、「社会に危険をもたらす行動」の恐れがあるとして、精神病院での入院加療を決定しました。アムネスティは7月15日から世界中で緊急行動を呼びかけ当局に手紙を送りました。その結果、7月26日レイサさんは解放されました。娘のダリナさんは、アムネスティに感謝の言葉を寄せています。強制入院の根拠や背景は依然明らかにされていません。アムネスティでは、事態の究明と人権保護を求めて、引き続き緊急アクションを継続していきます。

UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp

UA年会費 3000円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本